

## (専門試験 薬剤師 No. 1)

薬価基準制度に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 薬価基準には、保険医療のもとで使用できる医療用医薬品が収載されている。
2. 新薬の薬価は、類似薬がある場合には、原則として、原価計算方式と呼ばれる方法により算定される。
3. 新薬の薬価は、医薬品の製造販売承認の審議を行う薬事・食品衛生審議会の総会において了承を得たうえで、官報に告示される。
4. 薬価改定は、薬価基準に収載されている医薬品のうち、先発医薬品がその対象となる。
5. 薬価改定に用いられる市場実勢価格加重平均値調整幅方式とは、医薬品の製造原価、販売管理費、利益等を積み上げて算定する方式である。

地球環境問題に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 成層圏のオゾン層は、生物にとって有害な短波長領域の紫外線である UV-A を吸収し、地表への UV-A の到達を阻止する。
2. 地球温暖化に寄与する温室効果ガスである  $\text{CO}_2$ 、 $\text{CH}_4$ 、 $\text{N}_2\text{O}$  のうちで、単位濃度当たりの温室効果が最も大きいのは  $\text{CO}_2$  である。
3. 代替フロンであるハイドロフルオロカーボン (HFC) は、オゾン層破壊作用をほとんど示さないが、温室効果を示す。
4. 酸性雨の原因物質には  $\text{SO}_x$ 、 $\text{NO}_x$ 、CO などがある。これらは大気中で雨水の pH を 5.6 以下に低下させ、国境を越えて広範囲にわたり森林破壊を起こす。
5. 毒性、難分解性、生物蓄積性及び長距離移動性を持つ残留性有機汚染物質 (POPs) は、ワシントン条約により製造、使用、排出が規制されている。